

【1 分解説】ギフテッドとは？

総合調査部 政策調査グループ 研究理事 重原正明

ギフテッド、とは元は才能の意味ですが、一般には語学・科学・芸術など特定の分野で先天的に人並外れた才能を持つ人の意味で使われます。発達障害を持つ人もいますが、発達障害が必ずあるわけではなく、また発達障害があればギフテッドというわけでもありません。

ギフテッドでその才能を社会に活かす人は多くいます。一方、特にこどもの場合、突出した才能は悩みの種ともなります。自分の考えを理解できる話し相手がない、学校の授業に退屈する（「吹きこぼれ」ということばを使う方もいます）等の事態が生じます。そしてギフテッドの才能や困りごとは個人個人異なるため、個別の対応が求められます。

文部科学省の「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議」では、ギフテッドという語を使わずに議論がされました。ギフテッドの意味が一定しないことが理由ですが、より広く、優れた才能を持つ人の学校教育における課題を考えた、会議の内容にも合うものと思われま

す。この会議の報告書に基づき、文部科学省では 2023 年度から特異な才能を持ったこどもの教育に関する実証研究を開始しています。こどもの困りごとをどう解消しどう才能を伸ばしていけばいいか、という well-being の視点で、動向を見守りたいと思います。